

1.	③	11.	②	21.	①	31.	③	41.	②
2.	①	12.	③	22.	②	32.	①	42.	④
3.	①	13.	②	23.	④	33.	④	43.	①
4.	④	14.	③	24.	③	34.	③	44.	③
5.	③	15.	③	25.	①	35.	①	45.	②
6.	①	16.	②	26.	②	36.	②	46.	④
7.	③	17.	④	27.	①	37.	④	47.	③
8.	①	18.	②	28.	④	38.	②	48.	①
9.	①	19.	④	29.	④	39.	②	49.	②
10.	①	20.	①	30.	②	40.	③	50.	②

1.

解答 ③

【解説】

正解は③「～のあとについて行く、～に従う」です。follow は、物理的に誰かの「あとをついて行く」ことや、指示、規則、アドバイスなどに「従う」という、二つの主要な意味を持つ動詞です。A little lamb followed her to school. (一匹の子羊が彼女のあとを学校までついてきた)。You must follow the instructions carefully. (あなたは指示に注意深く従わなければなりません)。①「～を導く」は lead や guide、②「～を許す」は allow や forgive、④「～を借りる」は borrow が適切です。

◆補足：`as follows`という形で「次の通り」という意味の決まった言い方も重要です。`The schedule is as follows.` (スケジュールは次の通りです)。SNS で特定の人の投稿を追いかける「フォローする」も、この`follow`から来ています。

2.

解答 ①

【解説】

正解は①「～せずにはいられない」です。`can't help doing`は、ある感情や行動を自分の意志では抑えることができず、「思わず～してしまう」という状況を表す重要な慣用表現です。この`help`は「手伝う」ではなく「避ける」という意味で使われており、「～することを避けられない」というのが直訳的な意味になります。`The story was so funny that I couldn't help laughing.` (その話はとてもおかしかったので、笑わずにはいられなかった)。②の「～するのを手伝えない」は`I can't help you with ...`など、③の「～することができない」は`I can't do ...`、④の「～したくない」は`I don't want to do ...`が適切な表現です。

◆補足：この表現では、`help`の後ろには必ず動名詞（-ing 形）が来るという文法ルールが非常に重要です。同じ意味で`can't help but do`（`do`は動詞の原形）という形もありますが、まずは`can't help doing`の形をしっかりとマスターしましょう。

3.

解答 ①

【解説】

正解は①「～を振る、震える」です。動詞の`shake`は、何かを上下や左右に速く「～を振る、揺する」ことや、恐怖や寒さで体などが「震える」ことを表します。`She shook her head to say no.`（彼女はノーと言うために首を横に振った）。`He was shaking like a leaf.`（彼は木の葉のように震えていた）。②「～を壊す」は`break`、③「～を共有する」は`share`、④「～を形づくる」は`shape`が適切な単語です。

◆補足：`shake hands with ～`で「～と握手をする」という決まった言い方になります。`The two politicians shook hands for the cameras.`（その二人の政治家はカメラのために握手をした）。`shake`の活用は`shake - shook - shaken`という不規則動詞である点にも注意が必要です。

4.

解答 ④

【解説】

正解は④「～を尊敬する、尊重する」です。動詞の`respect`は、人の人格、能力、業績などを高く評価し、敬意を払うことを意味します。また、他人の権利や感情、文化などを大切にし、それを侵害しないようにすることも含みます。`I truly respect him for his dedication to his work.`（私は仕事への献身に対して、彼を心から尊敬している）。①「～を期待する」は`expect`、②「～を疑う」は`suspect`や`doubt`、③「～を拒絶する」は`reject`です。

◆補足：`respect`は名詞として「尊敬、尊重」や「(in this respect のような形で) 点、箇所」という意味も持ちます。`show respect for ～`（～に敬意を示す）。形容詞形は`respectful`（敬意に満ちた）や`respectable`（立派な、まともな）などがあり、意味が異なるので注意が必要です。

5.

解答 ③

【解説】

正解は③「～を借りる、賃貸する」です。動詞の`rent`は、お金を支払って、家、アパート、車などを一定期間「借りる」ことを意味します。また、所有者がお金を取って「貸す」という意味でも使われます。`We rented a small apartment for our vacation.`（私たちは休暇のために小さなアパートを

借りた)。①「～を（無料で）貸す」は`lend`、②「～を返す」は`return`、④「～を修理する」は`repair`です。有料の`rent`と無料の`lend`の区別は重要です。

◆補足：`rent`は名詞として「家賃、賃貸料」という意味でも頻繁に使われます。`The monthly rent for this apartment is 100,000 yen.`（このアパートの月々の家賃は10万円です）。`for rent`で「賃貸用」という表示になります。

6.

解答 ①

【解説】

正解は①「十分な、十分に」です。`enough`は、形容詞として「十分な（量の）」、副詞として「十分に、必要なだけ」という二つの働きを持つ重要な単語です。必要とされる基準や量を満たしている状態を示します。形容詞の場合は`enough + 名詞`（例：`I don't have enough money.`）、副詞の場合は`形容詞/副詞 + enough`（例：`He is old enough to drive.`）という語順になるのが大きな特徴です。②「多くの」は`many`/`much`、③「ほとんどの」は`most`、④「いくつかの」は`some`です。

◆補足：`enough to do`（～するのに十分）という構文は頻出します。`She is tall enough to reach the shelf.`（彼女は棚に手が届くほど背が高い）。この構文では、`enough`が形容詞`tall`を後ろから修飾している副詞として働いています。語順のルールをしっかりとマスターしましょう。

7.

解答 ③

【解説】

正解は③の`create`で、「～を創造する、創作する」という意味の動詞です。それまで存在しなかった新しいものやアイデアを、独自の工夫や想像力をもって生み出すことを表します。芸術作品の創作や、新しいビジネスの創出など、幅広い場面で使われます。`The government plans to create more job opportunities for young people.`（政府は若者のためにより多くの雇用機会を創出する計画だ）。他の選択肢は、①`correct`が「～を訂正する」、②`collect`が「～を集める」、④`connect`が「～をつなぐ」という意味です。

◆補足：`create`は`make`（作る）よりも、より独創性や芸術性の高いものを生み出すというニュアンスが強い単語です。名詞形には`creation`（創造、創造物）、`creativity`（創造性）、`creator`（創造者）があります。形容詞形は`creative`（創造的な）です。

8.

解答 ①

【解説】

正解は①「乗客」です。`passenger`は、バス、電車、飛行機、船などの公共交通機関に乗っている人のことで、運転手や乗組員（`crew`）は含まれません。`All passengers must fasten their seatbelts before takeoff.`（全ての乗客は離陸前にシートベルトを締めなければならない）。②「歩行者」は`pedestrian`、③「運転手」は`driver`、④「通行人」は`passerby`がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：`passenger`は動詞`pass`（通り過ぎる）に由来し、「乗り物に乗って場所を通り過ぎていく人」と考えると覚えやすいかもしれません。コロケーションとしては、`a passenger train`（旅客列車）や`a passenger seat`（（車の）助手席）などがあります。

9.

解答 ①

【解説】

正解は①「気候」です。`climate`は、ある地域における、長期間にわたる平均的な気温、降水量、風などの気象の状態を指します。`The climate of Hokkaido is very different from that of Okinawa.`（北海道の気候は沖縄の気候とは大きく異なる）。②「天気」は`weather`で、日々変化する空模様を指します。この`climate`（長期的）と`weather`（短期的）の違いは非常に重要です。③「温度」は`temperature`、④「雲」は`cloud`です。

◆補足：近年、世界的な問題となっている「気候変動」は`climate change`と言います。`climate`は比喩的に、ある場所や組織の「雰囲気、風潮、情勢」を指すこともあります。`the political climate`（政治情勢）。

10.

解答 ①

【解説】

正解は①の`scenery`で、「（ある地域全体の自然の）風景、景色」を意味します。山、湖、海岸線など、広範囲にわたる美しい自然の景観を指す場合に特に使われます。`I was impressed by the magnificent scenery of the Swiss Alps.`（私はスイスアルプスの壮大な風景に感銘を受けた）。他の選択肢は、②`scene`が映画の「場面」や事件の「現場」など、特定の「光景」を、③`view`が窓や丘の上といった特定の地点からの「眺め」を、④`sight`が「見ること、視力」や複数形で`sights`として「名所」を意味します。これらの単語はすべて「景色」と訳せますが、ニュアンスが異なるため、文脈に応じた使い分けが重要です。

◆補足：`scenery`は数えられない名詞（不可算名詞）として扱われるのが基本です。そのため、`a scenery`や`sceneries`という形にはなりません。「美しい風景」は`beautiful scenery`、「壮大な風景」は`spectacular scenery`のように表現します。

11.

解答 ②

【解説】

正解は②の`be ready to do`で、「～する準備ができています」または「喜んで～する、いつでも～する」という意味です。物理的な準備が整っている状態と、精神的に前向きで、何かを行うのをいとわない状態の両方を表します。`The team is ready to start the new project.`（チームは新しいプロジェクトを始める準備ができています）。`She is always ready to listen to her friends' problems.`（彼女はいつでも喜んで友達の悩みを聞く）。他の選択肢は、①`be sure to do`が「必ず～する」、③`be likely to do`が「～しそうである」、④`be about to do`が「まさに～しようとしている」という意味です。

◆補足：`be ready for`の形で「～の準備ができています」と名詞を続けることもできます。`Are you ready for your trip?`（旅行の準備はできていますか？）。`Get ready!`（準備して!）という命令文もよく使われます。

12.

解答 ③

【解説】

正解は③「～を支える、支持する」です。動詞の`support`は、物理的に「～を支える」ことや、人、計画、意見などを精神的・金銭的に「～を支持する、支援する」ことを意味します。`The government should support small businesses.`（政府は中小企業を支援すべきだ）。`I completely support your decision.`（私はあなたの決定を全面的に支持します）。①「～を提案する」は`suggest`、②「～を供給する」は`supply`、④「～を仮定する」は`suppose`です。

◆補足：`support`は名詞として「支持、支援、支え」という意味でも使われます。`He has a lot of support from his family.`（彼は家族から多くの支援を受けている）。`supporter`は「支持者、後援者、サポーター」です。

13.

解答 ②

【解説】

正解は②の`repair`で、「～を修理する、修繕する」という意味の動詞です。壊れたり、故障したりしたものを、元の正常な状態に戻すことを指します。`It will cost a lot to repair the roof of the house.`（その家の屋根を修理するには多額の費用がかかるだろう）。他の選択肢は、①`prepare`が「～を準備する」、③`repeat`が「～を繰り返す」、④`replace`が「～を取り替える、～に取って代わる」という意味です。

◆補足：`repair`とほぼ同じ意味で`fix`や`mend`という動詞も使われます。`fix`は特にアメリカ英語でよく使われる口語的な表現です。`mend`はイギリス英語で好まれ、衣類のほころびなどを繕う場合によく使われます。名詞としても「修理」という意味で使われ、`under repair`で「修理中」となります。

14.

解答 ③

【解説】

正解は③の`co-worker`で、「同僚、仕事仲間」を意味します。接頭辞`co-`は「共同の、共に」という意味を持ち、`worker`（働く人）と組み合わせられてできています。`I sometimes have dinner with my co-workers after work.`（私は仕事の後、時々同僚と夕食をとる）。他の選択肢は、①`customer`が店などの「客」、②`client`が弁護士などの専門家に仕事を依頼する「依頼人」、④`competitor`が「競争相手」という意味です。

◆補足：`co-worker`とほぼ同じ意味で`colleague`という単語もよく使われます。`colleague`の方が、よりフォーマルで、専門職の同僚を指す場合に好まれる傾向があります。接頭辞`co-`が付く単語には、他に`cooperate`（協力する）や`co-pilot`（副操縦士）などがあります。

15.

解答 ③

【解説】

正解は③「～をつなぐ、接続する」です。`connect`は、二つ以上のものを物理的に、あるいは論理的に結びつけることを意味する動詞です。`This train connects Tokyo and Osaka.`（この電車は東京と大阪を結んでいる）。`First, connect the printer to your computer.`（最初に、プリンターをコンピュータに接続してください）。①「～を集める」は`collect`、②「～を訂正する」は`correct`、④「～を比較する」は`compare`です。

◆補足：名詞形は`connection`（接続、関係、つながり）です。`I feel a strong connection to this town.`（私はこの町に強いつながりを感じる）。`connect A to/with B`で「AをBにつなぐ」という形でよく使われます。

16.

解答 ②

【解説】

正解は②の`friendly`で、「親切的な、友好的な、人なつこい」という意味の形容詞です。人に対して好意的で、親しみやすい態度を示す様子を表します。`The local people were very friendly and helpful.`（地元の人々はとても親切で協力的だった）。他の選択肢は、①`freely`が副詞で「自由に」、③`frequently`が副詞で「頻繁に」、④`foreign`が形容詞で「外国の」という意味です。

◆補足：`friendly`は名詞の`friend`（友達）に`-ly`が付いて形容詞になった形です。前の問題の`unfriendly`（不親切的な）は、この`friendly`の対義語になります。コロケーションとしては、`a friendly atmosphere`（和やかな雰囲気）や、コンピュータ用語の`user-friendly`（利用者が使いやすい）などがあります。

17.

解答 ④

【解説】

正解は④「結婚する」です。`get married`は、「結婚する」という動作や変化を表す最も一般的な口語表現です。`married`は「結婚している」という状態を表す形容詞で、`get`と結びつくことで「結婚している状態になる」という意味になります。`My cousin is getting married in June.`（私のいとこは6月に結婚します）。①「婚約する」は`get engaged`、②「離婚する」は`get divorced`、③「デートする」は`go on a date`などが適切な表現です。

◆補足：`marry`という動詞も「～と結婚する」という意味ですが、`get married`の方が会話では頻繁に使われます。`get married to`～で「～と結婚する」という形になります。`She got married to her high school classmate.`（彼女は高校の同級生と結婚した）。

18.

解答 ②

【解説】

正解は②「訴える、心に訴える」です。動詞の`appeal`は、`appeal to`～の形で「～の心に訴える、～の興味を引く」という意味で使われることが多いです。また、助けや資金、情報などを「～に訴えかける、懇願する」という意味もあります。`The design of the product appeals to young consumers.`（その製品のデザインは若い消費者にアピールする）。①「現れる」は`appear`、③「拍手する」は`applaud`、④「謝罪する」は`apologize`です。これらは`ap-`で始まる動詞で紛らわしいですが、意味は大きく異なります。

◆補足：`appeal`は名詞として「魅力、人気、訴え」という意味でも使われます。`The candidate's main appeal is his honesty.`（その候補者の主な魅力は誠実さだ）。日本語の「アピールする」は自己主張の意味合いが強いですが、英語の`appeal`は、相手の心に働きかけるというニュアンスが強いです。

19.

解答 ④

【解説】

正解は④の`feed`で、「～にえさをやる、～を養う」という意味の動詞です。動物や赤ちゃんに食べ物を与えることや、家族などの生活の面倒を見ること（扶養する）を表します。`It's my turn to feed the cat today.`（今日は私が猫にえさをやる番だ）。`He works two jobs to feed his family.`（彼は家族を養うために二つの仕事を掛け持ちしている）。他の選択肢は、①`feel`が「～を感じる」、②`bleed`が「出血する」、③`breed`が「～を繁殖させる、飼育する」という意味です。

◆補足：`feed`の活用は`feed - fed - fed`と不規則に変化します。過去形・過去分詞形のスペルと発音に注意しましょう。`feed on ~`という形になると「(動物が) ~を常食とする」という意味になります。`Lions feed on other animals.` (ライオンは他の動物を常食とする)。

20.

解答 ①

【解説】

正解は①「~を説明する」です。`explain`は、何かを分かりやすくしたり、その理由を明らかにしたりするために、言葉で詳しく述べることを意味する動詞です。`Could you explain the meaning of this word?` (この単語の意味を説明していただけますか?)。②「~を探検する」は`explore`、③「~を交換する」は`exchange`、④「~を表現する」は`express`です。これらは`ex-`で始まる動詞で紛らわしいですが、意味は大きく異なります。

◆補足：`explain`を使う上で非常に重要な文法ポイントは、`explain me the meaning`のように`explain 人 物`という第4文型の形はとれない、という点です。必ず`explain 物 to 人`(`explain the meaning to me`)の語順になります。名詞形は`explanation` (説明) です。

21.

解答 ①

【解説】

正解は①の`care`で、名詞として「世話、介護」や「注意、配慮」といった複数の意味を持つ基本的な単語です。`The baby needs constant care.` (その赤ちゃんは常時世話が必要です) のように、助けが必要な人や動物の世話を指します。また、`Handle this package with care.` (この小包は注意して扱ってください) のように、何かを行う際の慎重さや配慮を表します。他の選択肢は、②`cure`が「治療法」、③`case`が「場合、事件」、④`cause`が「原因」という意味です。

◆補足：動詞の`care`は`care about ~` (～を気にかける) や`care for ~` (～の世話をする) の形で使われます。また、`take care of ~` (～の世話をする) や、形容詞`careful` (注意深い)、`careless` (不注意な) など、`care`から派生する重要表現は数多くあります。

22.

解答 ②

【解説】

正解は②の`business`で、「仕事、商売、事業」や「用事、関わるべきこと」を意味します。営利目的の活動全般や、個人的な用件、あるいは話の要点などを指す、非常に意味の広い単語です。`He runs a small business in his hometown.` (彼は故郷で小さな事業を営んでいる)。`I'm here on business.` (仕

事でここに来ています)。他の選択肢は、①`busy`が形容詞で「忙しい」、③`basis`が「基礎」、④`boss`が「上司」という意味です。

◆補足：`business`は数えられない名詞（仕事全般）としても、数えられる名詞（個々の会社・事業）としても使われます。コロケーションとして、`go on a business trip`（出張に行く）、`business hours`（営業時間）などがあります。`It's none of your business.`（あなたには関係ないことです/余計なお世話だ）という表現も覚えておくと便利です。

23.

解答 ④

【解説】

正解は④の`reason`で、「理由、根拠、道理」を意味する名詞です。ある出来事や行動がなぜ起こったのか、あるいはなぜそう判断したのかという、論理的な裏付けを指します。`There must be a reason for his strange behavior.`（彼の奇妙な行動には何か理由があるに違いない）。他の選択肢は、①`season`が「季節」、②`region`が「地域、地方」、③`religion`が「宗教」という意味で、発音が似ていますが意味は全く異なります。

◆補足：`the reason for ~`（～の理由）や、関係副詞`why`を伴って`the reason why ...`（…である理由）という形で非常によく使われます。`Health is one of the main reasons why people exercise.`（健康は人々が運動する主な理由の一つだ）。形容詞形は`reasonable`（道理にかなった、手頃な）です。

24.

解答 ③

【解説】

正解は③「10 億」です。`billion`は、1,000,000,000 を示す数の単位です。世界の人口や巨大企業の収益など、非常に大きな数を表す際に使われます。`The world's population is expected to reach 10 billion by 2050.`（世界の人口は 2050 年までに 100 億人に達すると予想されている）。①「100 万」は`million`、②「1 兆」は`trillion`、④「多数」は`multitude`や`a large number`で表します。

◆補足：英語の大きな数の単位は、`thousand`（千）、`million`（百万）、`billion`（十億）、`trillion`（兆）と、1,000 倍（ゼロ 3 つ）ごとに単位が変わるのが特徴です。数字のコンマ（,）の位置と単位が連動していると覚えると便利です。`a billionaire`で「(10 億以上の資産を持つ) 大富豪、億万長者」を意味します。

25.

解答 ①

【解説】

正解は①「日陰、物陰」です。`shade`は、日光などが物にさえぎられてできる、涼しくて暗い場所を指す名詞です。`It was hot, so we sat in the shade.`（暑かったので、私たちは日陰に座った）。②の`shadow`も「かげ」と訳しますが、こちらは光によってできる人や物の輪郭のはっきりした「影」そのものを指します。`a long shadow`（長い影）。この`shade`（場所）と`shadow`（形）の使い分けは非常に重要です。③「光」は`light`、④「形」は`shape`です。

◆補足：`shade`は動詞として「～に陰をつける、～を日差しから守る」という意味もあります。`shades`と複数形になると、口語で「サングラス」を意味することもあります。

26.

解答 ②

【解説】

正解は②の`instead of`～`で、「～の代わりに、～しないで」という意味の前置詞句です。あることをしないで、その代わりとして別のことをすることを選択する場合に使います。`Can I have tea instead of coffee?`（コーヒーの代わりに紅茶をいただけますか?）。`He stayed home and watched TV instead of doing his homework.`（彼は宿題をする代わりに、家にいてテレビを見ていた）。他の選択肢は、①`in spite of`～`が「～にもかかわらず」、③`because of`～`が「～が原因で」、④`in front of`～`が「～の前に」という意味です。

◆補足：`instead of`の後ろには名詞や動名詞(-ing 形)が続きます。`instead`は単独で副詞として「その代わりに」という意味でも使われ、文末に置かれることが多いです。`If you don't have sugar, you can use honey instead.`（もし砂糖がなければ、代わりにハチミツを使えますよ）。

27.

解答 ①

【解説】

正解は①「危険な」です。`dangerous`は、危害や損害、死などを引き起こす可能性があることを示す形容詞です。`It is dangerous for children to play near the river.`（子供たちが川の近くで遊ぶのは危険だ）。②「親切的な」は`kind`、③「有名な」は`famous`、④「様々な」は`various`がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：`dangerous`は名詞`danger`（危険）に、形容詞を作る接尾辞`-ous`が付いた形です。`in danger`で「危険な状態で」という熟語になります。`dangerous`の対義語は`safe`（安全な）です。この基本的な対義語のペアは必ず覚えておきましょう。

28.

解答 ④

【解説】

正解は④の`call out`で、「(助けを求めて) 大声で叫ぶ」や「(人の名前などを) 大声で呼ぶ」という意味の句動詞です。`shout`と意味が似ていますが、`call out`は特に誰かの注意を引いたり、助けを求めたりする目的で声を張り上げるニュアンスがあります。`He called out for help, but no one was around.` (彼は助けを求めて大声で叫んだが、周りには誰もいなかった)。他の選択肢は、①`call on`が「(人)を訪ねる」、②`call off`が「～を中止する」、③`call up`が「～に電話をかける」という、それぞれ`call`を使った重要な句動詞です。

◆補足：`call out`は、点呼などで名前を「読み上げる」という意味でも使われます。`The teacher called out the names of the students who passed the exam.` (先生は試験に合格した生徒の名前を読み上げた)。

29.

解答 ④

【解説】

正解は④の`perfect`で、「完璧な、申し分のない、完全な」という意味の形容詞です。欠点や誤りが全くなく、理想的な状態を表します。`The weather was perfect for a picnic.` (ピクニックには完璧な天気だった)。他の選択肢は、①`pure`が「純粋な、混じりけのない」、②`proper`が「適切な、ちゃんとした」、③`patient`が「忍耐強い」という意味です。

◆補足：動詞形は`perfect` (パーフェクト) とアクセントの位置が後ろに移動し、「～を完璧にする、完成させる」という意味になります。副詞形は`perfectly` (完璧に)、名詞形は`perfection` (完璧) です。ことわざの`Practice makes perfect.` (練習が完璧を生む→習うより慣れよ) は覚えておくといいでしょう。

30.

解答 ②

【解説】

正解は②「手術、操作」です。`operation`は複数の重要な意味を持つ名詞です。一つは、病気やけがを治療するための「手術」です。`The operation was successful.` (手術は成功した)。もう一つは、機械などの「操作、運転」や、会社や計画の「運営、実施」です。`The machine is now in operation.` (その機械は現在作動中です)。①「意見」は`opinion`、③「機会」は`opportunity`、④「組織」は`organization`です。

◆補足：`operation`の動詞形は`operate`です。`The surgeon will operate on the patient tomorrow.` (その外科医は明日、患者の手術を行う)。コロケーションとしては、`a surgical operation` (外科手術) や`military operation` (軍事作戦) などがあります。

31.

解答 ③

【解説】

正解は③「法律の、合法的な」です。`legal`は形容詞で、法律に関連すること、または法律によって認められていることを示します。`It is a legal requirement to wear a seatbelt.`（シートベルトの着用は法的な要件です）。①「地域的な」は`local`や`regional`、②「忠実な」は`loyal`、④「論理的な」は`logical`が適切な単語です。

◆補足：`legal`は名詞の`law`（法律）から派生した言葉です。対義語は、否定を表す接頭辞`il-`を付けた`illegal`（違法な）です。この対義語も非常に重要なのでセットで覚えましょう。コロケーションとしては`legal advice`（法的助言）、`legal system`（法制度）、`take legal action`（法的措置を取る）などがあります。

32.

解答 ①

【解説】

正解は①「組織、団体」です。`organization`は、特定の目的のために集まった人々の集団を指す名詞です。会社、政府機関、クラブ、非営利団体など、様々な種類の組織を含みます。`He joined a volunteer organization.`（彼はボランティア団体に加わった）。②「操作」は`operation`、③「職業」は`occupation`、④「オリエンテーション」は`orientation`です。これらの単語はつづりが似ていますが、意味は全く異なります。

◆補足：`organization`の動詞形は`organize`（～を組織する、計画する、整理する）です。`She is good at organizing events.`（彼女はイベントを企画するのが得意だ）。`organizer`は「主催者、まとめ役」です。

33.

解答 ④

【解説】

正解は④の`block`です。名詞として「(木・石・氷などの大きな四角い) かたまり」や「(街路に囲まれた) 一区画」を意味します。また、動詞としては「(道・視界など) をふさぐ、妨げる」という意味で使われます。`He used wooden blocks to build a tower.`（彼は積み木を使って塔を作った）。`A traffic accident is blocking two lanes of the highway.`（交通事故が高速道路の2車線をふさいでいる）。他の選択肢は、①`brick`が「れんが」、②`rock`が「岩」、③`lock`が「錠」や「～に鍵をかける」という意味です。

◆補足：日本語でも「ブロック」という言葉は馴染み深いですね。コロケーションとしては`a block of cheese`（チーズのかたまり）や`walk around the block`（ブロックを一周する）などがあります。`block`の動詞形から派生した名詞に`blockage`（封鎖、障害物）があります。

34.

解答 ③

【解説】

正解は③「～の代わりに」です。`in place of ～`は、前の問題の`instead of ～`とほぼ同じ意味で、「～の代理として、～の代用品として」というニュアンスで使われます。人や物が、本来のものや人の役割を果たすことを示します。`Soy milk can be used in place of regular milk.`（豆乳は普通の牛乳の代わりに使うことができる）。①「～の場合には」は`in case of ～`、②「～に加えて」は`in addition to ～`、④「～にもかかわらず」は`in spite of ～`が適切な表現です。

◆補足：`in place of`は、`instead of`よりもややフォーマルな響きを持つことがあります。特に、人の代理を務めるような文脈で使われることがあります。`The CEO's assistant gave the speech in place of him.`（CEOの秘書が、彼の代わりにスピーチを行った）。

35.

解答 ①

【解説】

正解は①「自由」です。`freedom`は、物理的な束縛や、社会的な制約、精神的な抑圧などがない状態、また自分の意志で行動できる権利を意味する名詞です。`The new law protects freedom of expression.`（新しい法律は表現の自由を保護している）。②「王国」は`kingdom`、③「知恵」は`wisdom`、④「退屈」は`boredom`が適切な単語です。

◆補足：`freedom`は形容詞`free`（自由な）の名詞形です。`-dom`は「状態、身分、領域」などを表す接尾辞で、`kingdom`（王の領域→王国）や`wisdom`（賢い状態→知恵）などにも見られます。`freedom from ～`で「～からの自由」を意味します。

36.

解答 ②

【解説】

正解は②「寂しい、孤独な」です。`lonely`は、一人であることや、周りに人がいても理解者がいないと感じることから生じる、精神的な寂しさや孤立感を表す形容詞です。`After his wife died, he became a lonely old man.`（妻が亡くなった後、彼は孤独な老人になった）。①「愛らしい」は`lovely`、③「ただ一人の」は`alone`、④「遅い」は`late`です。

◆補足：`lonely`と`alone`の違いは非常に重要です。`alone`は単に「一人である」という客観的な物理的状态を指し、必ずしもネガティブな意味ではありません。一方、`lonely`はその状態から生じる「寂しい」という主観的な感情を表します。`-ly`で終わりますが副詞ではなく形容詞です。

37.

解答 ④

【解説】

正解は④「いつも、常に」です。`all the time`は、ある状態や行動が絶えず、あるいは非常に頻繁に続いていることを表す副詞句です。`always`とほぼ同じ意味で、より口語的な表現です。`My son watches cartoons all the time.`（私の息子はいつもアニメを見ている）。①「時間通りに」は`on time`、②「一度に」は`at a time`、③「しばらくの間」は`for a time`や`for a while`が適切な表現です。

◆補足：`all the time`は`always`と似ていますが、`always`がbe動詞の後、一般動詞の前に置かれることが多いのに対し、`all the time`は文末に置かれるのが一般的です。

38.

解答 ②

【解説】

正解は②「～を嫌う」です。動詞の`dislike`は、「～を好まない、嫌う」という意味で、`like`（～を好む）に否定を表す接頭辞`dis-`が付いた単語です。`hate`（～を憎む）ほど強い嫌悪感ではなく、単に「好みではない」という比較的穏やかな否定を表します。`I dislike crowded places.`（私は混雑した場所が好きではない）。①「～を好きである」は`like`、③「～を見逃す、～がいなくて寂しく思う」は`miss`、④「～をがっかりさせる」は`disappoint`が適切な単語です。

◆補足：`dislike`の後ろには、名詞または動名詞（-ing形）が続きます。`He dislikes talking about himself.`（彼は自分自身について話すのを好まない）。名詞の`dislike`は「嫌悪、反感」を意味します。`She took a dislike to her new boss.`（彼女は新しい上司に反感を抱いた）。

39.

解答 ②

【解説】

正解は②の`freezing`で、「凍るように寒い、極寒の」という意味の形容詞です。単に`cold`（寒い）と言うよりも、寒さの程度が非常に厳しいことを強調したいときに使います。`I'm freezing! Could you close the window?`（凍えそうだよ！窓を閉めてくれない？）のように使います。他の選択肢は、①`cooling`が「冷却中の」、③`frozen`が「凍った、冷凍された」（水が氷になったり、食品が冷凍されたりした状態）、④`cold`が一般的な「寒い」という意味です。

◆補足：`freezing`は、動詞`freeze`（凍る）の現在分詞が形容詞として使われている形です。`It's freezing cold.`のように、`cold`をさらに強調する形で使われることもあります。`the freezing point`で「氷点」（水が凍る温度、摂氏0度）を意味します。

40.

解答 ③

【解説】

正解は③の`risk`で、「危険、危険性、リスク」を意味する名詞です。損害や損失、あるいは何か悪いことが起こる可能性を指します。日本語の「リスク」とほぼ同じ意味で使うことができます。`Smoking increases the risk of lung cancer.`（喫煙は肺がんのリスクを高める）。他の選択肢は、①`list`が「リスト、一覧表」、②`disk`が「ディスク、円盤」、④`desk`が「机」という意味で、発音が似ていますが意味は全く異なります。

◆補足：`risk`は`take a risk`で「危険を冒す、一か八かやってみる」という決まった言い方でよく使われます。`At the risk of ~`で「～の危険を冒して」。また、動詞として「～を危険にさらす」という意味もあります。`He risked his own life to save the child.`（彼はその子供を救うために自らの命を危険にさらした）。

41.

解答 ②

【解説】

正解は②の`income`で、個人や法人が一定期間に得る「収入、所得」を意味します。主に仕事の対価として得られる給料や、事業によって得られる利益などを指します。`Many families are struggling with low incomes.`（多くの家庭が低い収入で苦勞している）。他の選択肢は、①`outcome`が「結果、成果」、③`increase`が「増加」、④`interest`が「興味、関心」や「利子」という意味です。

◆補足：`income`は`in`（中に）と`come`（来る）が組み合わさった単語で、「中に入ってくるお金」とイメージすると覚えやすいでしょう。コロケーションとしては、`annual income`（年収）、`household income`（世帯収入）、`income inequality`（所得格差）、`income tax`（所得税）などがあります。

42.

解答 ④

【解説】

正解は④「田舎、田園地帯」です。`countryside`は、都市部から離れた、畑や森、野原などが広がる、のどかな地域を指す名詞です。`They spent a relaxing weekend in the beautiful countryside.`（彼らは美しい田園地帯でリラックスした週末を過ごした）。①「国境」は`border`、②「海岸」は`coast`、③「首都」は`capital`が適切な単語です。

◆補足：`countryside`は`the`を付けて`the countryside`の形で使われることが多く、通常は数えられない名詞として扱われます。`country`一語でも「田舎」を意味しますが、`country`には「国」という主要な意味もあるため、文脈によっては`countryside`を使う方が意味が明確になります。

43.

解答 ①

【解説】

正解は①「よそよそしい、不親切な」です。`unfriendly`は、人の態度が冷淡であったり、敵意があったりする様子を表す形容詞です。`friendly`（友好的な、人なつこい）に、否定を表す接頭辞`un-`が付いた形です。`He gave me an unfriendly smile.`（彼は私によそよそしい笑みを向けた）。②「友好的な」は`friendly`で、`unfriendly`の対義語です。③「知らない」は`unfamiliar`や`unknown`、④「珍しい」は`unusual`や`rare`がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：`friendly`や`unfriendly`は、`-ly`で終わりますが副詞ではなく形容詞です。このように`-ly`で終わる形容詞には、他にも`lovely`（愛らしい）、`lonely`（寂しい）、`silly`（愚かな）などがあります。品詞の働きに注意しましょう。

44.

解答 ③

【解説】

正解は③「～と連絡を取っている」です。`be in contact with`～`は、ある人と電話やメール、手紙などで定期的に「連絡を取り合っている、接触している」という継続的な状態を表す熟語です。`I'm still in contact with some of my old college friends.`（私はまだ大学時代の友人の何人かと連絡を取り合っている）。①「～と競争している」は`be in competition with`～`、②「～に満足している」は`be content with`～`、④「～に反対している」は`be in opposition to`～`などが適切な表現です。

◆補足：`contact`は名詞として「連絡、接触」、動詞として「～と連絡を取る」という意味も持ちます。`be in contact`が「連絡を取り合っている」という状態を表すのに対し、`get in contact with`～`や`make contact with`～`は「～と連絡を取る」という動作を表します。

45.

解答 ②

【解説】

正解は②の`maintenance`で、「維持、整備、メンテナンス」を意味する名詞です。建物、機械、道路などが良好な状態を保ち続けられるように、定期的に点検や手入れを行うことを指します。日本語の「メンテナンス」とほぼ同じ感覚で使えます。`The bridge is closed for maintenance.`（その橋は整備のため閉鎖中です）。他の選択肢は、①`management`が「管理、経営」、③`measurement`が「測定」、④`movement`が「動き、運動」という意味です。

◆補足：`maintenance`の動詞形は`maintain`（～を維持する、整備する）です。`It's hard to maintain a large garden.`（広い庭を維持管理するのは大変だ）。コロケーションとしては、`maintenance work`（整備作業）、`maintenance costs`（維持費）、`regular maintenance`（定期メンテナンス）などがあります。

46.

解答 ④

【解説】

正解は④の`smartphone`です。電話機能に加えて、インターネットへのアクセスや様々なアプリケーションの利用が可能な、コンピュータのような多機能を持つ携帯電話を指します。`smart`（賢い）と`phone`（電話）を組み合わせた言葉です。他の選択肢は、①`telephone`が固定電話も含めた「電話機」全般、②`feature phone`がいわゆる「ガラケー」のような従来型の携帯電話、③`headphone`が「ヘッドホン」を指します。

◆補足：`smartphone`は現代社会において非常に一般的な単語になりました。しばしば省略して`phone`と言うこともありますが、文脈によってはどの種類の電話かを明確にするために`smartphone`や`cell phone`（携帯電話）という言葉が使われます。

47.

解答 ③

【解説】

正解は③「～を引き起こす、～の原因となる」です。動詞の`cause`は、ある出来事や状況が、別の（特に好ましくない）結果を生じさせる原因となることを意味します。`Careless mistakes can cause serious accidents.`（不注意なミスが深刻な事故を引き起こすことがある）。①「～を閉じる」は`close`、②「～を選ぶ」は`choose`、④「～を捕まえる」は`catch`がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：`cause`は名詞として「原因」という意味でも使われ、`result`（結果）や`effect`（影響、効果）と対で使われることが多いです。`What was the cause of the fire?`（その火事の原因は何でしたか?）。`cause and effect`（原因と結果）という関係性を理解することは、論理的な思考の基本です。

48.

解答 ①

【解説】

正解は①「要因、要素」です。`factor`は、ある結果や状況を生み出す原因となる、様々な事柄の一つを指す名詞です。`Several factors contributed to the company's success.`（いくつかの要因がその会社の成功に貢献した）。②「事実」は`fact`、③「工場」は`factory`で、つづりが似ているので注意が必要です。④「特徴」は`feature`や`characteristic`が適切な単語です。`fact`が単なる「事実」を指すのに対し、`factor`はその事実が何かに影響を及ぼす「要因」である、というニュアンスの違いがあります。

◆補足：コロケーションとして、`a key factor`（重要な要因）、`a major factor`（主要な要因）、`the deciding factor`（決定要因）などがよく使われます。これらの表現を知っていると、より自然な英語を使いこなせるようになります。

49.

解答 ②

【解説】

正解は②「叫ぶ、大声を出す」です。動詞の`shout`は、怒り、興奮、喜びなどの強い感情から、あるいは遠くの人に呼びかけるときなどに、大きな声を出すことを表します。`There is no need to shout. I can hear you.`（叫ぶ必要はありません。聞こえていますよ）。①「ささやく」は`whisper`、③「つぶやく」は`mutter`や`murmur`、④「話す」は`speak`や`talk`がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：`shout at`～で「～に（怒って）怒鳴る」、`shout to`～で「～に（呼びかけるために）大声を出す」というように、後ろに来る前置詞でニュアンスが変わることがあります。`shout`は名詞としても使え、`give a shout`で「大声を出す」となります。

50.

解答 ②

【解説】

正解は②「そういうわけで…だ」です。`that is why…`は、前に述べた事柄を「理由」として、その「結果」を導くときに使う接続詞的な表現です。`He practiced very hard. That is why he won the championship.`（彼は非常に熱心に練習した。そういうわけで彼は選手権に優勝したのだ）。①「…というのは～だからだ」と理由を説明する場合は`this is because …`を使い、因果関係が逆になります。③「たとえ…でも」は`even if …`、④「…かどうかということだ」は`the question is whether …`などが適切な表現です。

◆補足：口語では`That's why …`のように、`That is`を短縮した形が頻繁に使われます。「理由 (A). That's why 結果 (B).」という因果関係の流れをしっかりと理解することが、論理的な英文読解や英作文の鍵となります。
